

ひょうご部落解放・人権研究所

HB 通信

Hyogo Buraku Liberation and Human Rights Research Institute

編集・発行 /

社団法人 ひょうご部落解放・人権研究所

〒650-0022

神戸市中央区元町通 6-7-10

元町関西ビル 4階

TEL:078-367-8925 FAX:078-367-8924

e-mail:blrhyg@osk3.3web.ne.jp

URL:http://www3.osk.3web.ne.jp/~blrhyg/



あけましておめでとうございます



昨年1年間も、国内外ではさまざまな事件や事象が起こり、私たち国民の多くが驚かされました。

沖縄県の米軍普天間飛行場の移設を巡る政府の迷走と沖縄県民の怒りの集会、夏の参議院議員選挙では与党である民主党が敗北し、自民党をはじめとする野党が多数となるねじれ国会となりました。国際関係では、朝鮮民主主義人民共和国の韓国延坪島への突然の砲撃などによる朝鮮半島情勢の緊迫化や、中国漁船による日本の巡視船への衝突とその状況を撮影したビデオの流出や中国国内の反日デモ、機密文書を含むアメリカ外交公電約 25 万点が民間の内部告発ウェブサイト「ウィキリークス」に流出して一部が公開された問題など、挙げればきりがありません。

このように良い話題が少ない中で、障がい者問題は、政府に設置された「障がい者制度改革推進会議」が「障害者制度改革の推進のための基本的な方向(第一次意見)」をまとめ、政府がこれを閣議決定し、障がい者制度改革の歴史的一步を踏み出しました。しかし、他の人権施策は、長年の自民や自公政権時代のものがそのまま残っており、未批准の人権規約の批准や関連する国内法の整備とともに、最も重要な「人権侵害救済法」の早期制定の取組みを強めなければなりません。また狭山事件の石川一雄さんの再審を勝ちとるための運動を強め、部落差別をはじめ、あらゆる差別をなくし、人権が確立した社会を築かなければなりません。そのための役割を研究所も担っていきます。

この間、機関誌『ひょうご部落解放』の年間4回発行の他に取り組んできた、兵庫県内の『人権歴史マップ』は、神戸版・丹波版・阪神版・播磨版に続いて但馬版を作成中で、3月末に刊行する予定です。また、続いて「淡路・神戸増補版」を計画しています。このように、人権に関する研究・出版活動や集会など、今年も創意工夫しながら活動を行っていきます。

昨年同様、ご理解やご協力をいただきますようお願い申し上げます。

2011年元日 研究所事務局

人権歴史マップ 但馬版 編集中！！



あーす農場

当研究所では、兵庫県内をいくつかの地域に分けて、部落問題をはじめとするさまざまな人権に関する歴史をまとめた『人権歴史マップ』を刊行しています。神戸版、丹波版、阪神版、播磨版を刊行してまいりましたが、現在、本年3月末刊行を目指して但馬版を編集中です。乞うご期待！

CONTENTS (仮)

- | | |
|----------------------------|----------------------|
| ■あーす農場 (朝来市) | ■十日町長事件 (豊岡市) |
| ■じろはったん (朝来市) | ■斎藤隆夫 (豊岡市) |
| ■生野代官所と高札 (朝来市) | ■出石神社とアメノヒボコ (豊岡市) |
| ■八丈島に果てた義民
松岡新右衛門 (朝来市) | ■鉄道工事中斃病死者招魂碑 (新温泉町) |
| ■八鹿高校事件 (養父市) | ■余部に残された曹鉄根の墓 (香美町) |
| ■山田風太郎 (養父市) | |
| ■明延・中瀬鉦山と朝鮮人 (養父市) | |
- 他、多数予定

新着図書

2010年4月

- 『検証・狭山事件—女子高生誘拐殺人の現場と証言』（伊吹隼人著、社会評論社、2010.2）
- 『人権学習シリーズVo1.6 同じをこえて 差別と平等』（大阪府人権協会編、大阪府府民文化部 人権室、2010.3）
- 『とことん！部落問題』（角岡伸彦著、講談社、2009.4）
- 『第18回 久保田メモリアルシンポジウム講演録 「韓国の外国人政策に学ぶ—問われる日本の政策不在」』（自由人権協会〔JCLU〕、2010.3）
- 『2008年度講演録 講座・人権ゆかりの地をたずねて』（世界人権問題研究センター編刊、2010.3）
- 『対馬の朝鮮貿易と被差別民』（長崎人権研究所編刊、2010.3）
- 『部落に生きる 部落と出会う 東京の部落問題入門』（「部落に生きる 部落と出会う」編集委員会編、部落解放同盟東京都連合会、2010.3）
- 『第19回ふれあい芦屋マダン パンフレット』（ふれあい芦屋マダン2010実行委員会、2010.3）
- 『三木市部落史関係文書』第1巻（三木市部落史研究会編、三木市教育委員会、1979.3）
- 口述、村山盛嗣編、神戸新聞総合出版センター、2009.12）
- 『第14回統一マダン神戸 パンフレット』（統一マダン神戸実行委員会、2010.6）
- 『兵庫県在日外国人教育研究協議会 2010年度総会議案書』（兵庫県在日外国人教育研究協議会、2010.5）
- 『増補改訂 本願寺史』第1巻（本願寺史料研究所編、本願寺出版社、2010.3）
- 『リアンス・ブックレット11『歩いて・聞いて・考えた』（吉田賢作著、反差別国際連帯解放研究所しが、2003.3）

7月

5月

- 『アジア太平洋資料センター（PARC）2009年度活動報告書』（アジア太平洋資料センター）
- 『朝鮮近現代史を歩く—京都からソウルへ』（太田修著、佛教大学通信教育部、2009.3）
- 『二〇〇九年度部落史連続講座 講演録』（京都部落問題研究資料センター編刊、2010.3）
- 『反差別国際運動日本委員会（IMADR-JC）第21回総会議案書』（反差別国際運動日本委員会、2010.6）
- 『東日本部落解放研究所 2010年度 第25回総会議案書』（東日本部落解放研究所、2010.5）
- 『人権文化をすすめるために』（兵庫県健康福祉部社会福祉局人権推進課/兵庫県人権啓発協会、2010.3）
- 『差別原論〈わたし〉のなかの権力とつきあう』（好井裕明著、平凡社新書、2007.4）
- 『2009年度世界人権問題研究センター年報』（世界人権問題研究センター編刊、2010.6）
- 『2009年度年次報告書 特定非営利活動法人DPI日本会議』（DPI日本会議、2010.7）
- 『第15回兵庫県在日外国人教育研究集会兼第14回北播磨地区在日外国人教育講座 要項集』（兵庫県在日外国人教育研究協議会、2010.2）
- 『社団法人部落解放・人権研究所第72回総会議案書』（部落解放・人権研究所、2010.6）
- 『ふれあい芦屋マダン20年記念映像 ふれあい芦屋マダン20年のあゆみ～多文化共生のまちづくり～』（ふれあい芦屋マダン2010実行委員会、2010.3）
- 『人権ブックレット第15号 今日的人権課題と人権文化の四つのレベル—世界人権宣言六〇周年を迎えて』（平沢安成著、和歌山人権研究所、2010.3）
- 『人権ブックレット第16号 「大逆事件」と熊野新宮の犠牲者たち』（辻本雄一著、和歌山人権研究所、2010.3）
- 『特別レポート[建国 幻のフィルム物語] <その1><その2>』

8月

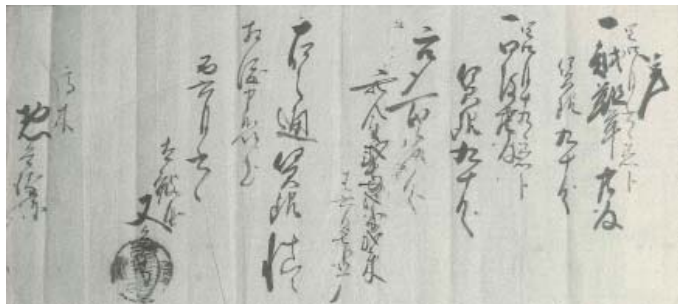
6月

- 『大阪の子どもたち—子どもの生活白書 2009年度版』（大阪府人権教育研究協議会、2010.3）
- 『大阪の部落史』第1巻～第10巻（大阪の部落史委員会編、部落解放・人権研究所、2000.1～2009.3）
- 『ハンセン病療養所 百年の居場所』（太田順一著、解放出版社、2002.9）
- 『父の日記』（太田順一著、ブレインセンター、2010.3）
- 『賀川豊彦とボランティア [新版]』（武内勝
- 『「西神戸朝連初等学院」「朝鮮建国国民学校」校名碑徐幕の集い パンフレット』（校名碑設立委員会、2010.8）
- 『「西神戸朝連初等学院」「朝鮮建国国民学校」校名碑建立祝賀の集い パンフレット』（4.24阪神教育闘争記念碑を建てる会、2010.8）
- 『皮革の歴史と民俗』（のびしょうじ著、解放出版社、2009.11）
- 『入門人権問題—部落の歴史と教育の認識』（門田秀夫著、2000.3）
- 『人権問題研究資料 犯罪者・非行少年の社会復帰と地域社会～安全・安心とソーシャル・インクルージョン（社会的包摂）』（龍谷大学人権問題研究委員会、2010.3）

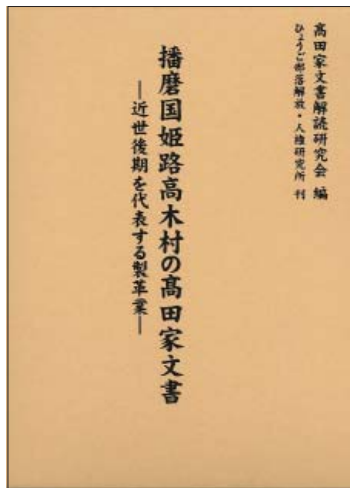
★9月以降受入分はホームページでご覧いただけます。

高田家文書の全容が初めて明らかに！

高田家文書解読研究会編 / ひょうご部落解放・人権研究所刊
A5版 352頁 函入



越前仕切覚



播磨国姫路高木村の高田家文書

— 近世後期を代表する製革業 —

播磨国姫路高木村で皮革業を営んでいた高田家には、近世末期のものを中心に皮革関係等の文書が遺されており、皮が革となり流通していく様子を知ることができる。高田家文書はこれまで何度か部分的に解読されてきたが、ひょうご部落解放・人権研究所の公募研究として、永瀬康博氏を中心にした研究グループにより、現在確認のできる文書を全て蒐集・解読し、その成果は当研究所『研究紀要』（第一二～一四号）に発表してきた。このたび、誤読等の訂正、文書の分類の変更等を行い、一書にまとめて刊行する運びとなった。本書が近世における皮革の生産・流通を知るための必読書となるとともに、皮革の研究にとどまらず、部落差別解消の一助となることを切に願うものである。

目次

発刊にあたって 第三章 年貢
はじめに 第四章 生活
第一章 皮革 解説にかえて
第二章 金融 あとがき

※発行部数が僅少のため、ご希望の方はお早めに当研究所までお問合せください。

平成 22 年度神劇まわり舞台 劇団道化座 こどもと親の劇場
＜モンゴル民話＞

スーホの白い馬 作／渡辺鶴 演出／須永克彦

教科書や絵本で親しまれている馬頭琴にまつわるモンゴル民話。モンゴルの少年スーホと白い馬の友情物語。読むだけでは味わえない「音」「光」「心」がいっぱい詰まった子どもたちへの熱いメッセージ。

- 日時：2011年2月11日（祝金）14:30
- 会場：神戸市立灘区民ホール
- 料金
 - 前売／こども（小中学生）¥1,000
 - 一般 ¥2,000
 - 親子券（親子ペア）¥2,500 ※前売のみ
 - 当日／こども（小中学生）¥1,500
 - 一般 ¥2,500

- お問合せ先
劇団道化座
TEL：078-803-2458
FAX：078-803-2459
E-mail:dougeza@kcc.zaq.ne.jp



WAKKUN 展覧会「絵と字と言葉 2011 春 三田」

2011年1月21日（金）～1月30日（日） ※11:00～19:00/水曜休館
(最終日は18:00まで)

- 会場：三田市総合文化センター 郷の音ホール 展示室

WAKKUNのトークライブ&ライブペインティング+かたりべ：山崎コマリ
日時：2011年1月23日（日）14:00
・参加無料 / 要予約 ・会場：展示室
・ご予約は郷の音ホール管理事務所まで（先着順）

- お問合せ先
三田市総合文化センター 郷の音ホール / TEL：079-559-8100
※ JR 三田駅より徒歩 12 分 中国自動車道「西宮北 IC」出口より 20 分

入場無料♪



第25回人権啓発研究集会 in 姫路

●日時

2011年1月27日(木)・28日(金)

●会場：兵庫県立武道館／姫路市文化センター他

●参加費：5500円(参加・資料代)

〈1日目〉13:00～17:05

全体会①(会場：兵庫県立武道館第1道場)

全体会②(会場：姫路市文化センター大ホール)

〈2日目〉

分科会(10:00～15:30 or 16:00)

フィールドワーク(事前申込制)

フィールドワークコース(事前申込制) 1月28日(金)

※フィールドワークの参加には、集会参加費とは別にフィールドワーク参加費が必要です。

①姫路・皮革産業の歴史をたどる(9:00～15:30[16:00])

古くから白革鞣しで知られる高木地区のフィールドワーク(皮革製造工場の見学含む)を通して同地区が担ってきた歴史や伝統・文化、さらには今日の部落産業の実態や地区に残る差別の現状について学習します。また、御着地区にある皮革資料館の見学及び糠なめし・毛漉きを体験していただけます。

コーディネーター：柏葉嘉徳(皮革研究者)／大垣俊雄(部落解放同盟兵庫県連合会高木支部)

定員：40名 参加費：5000円(移動費、昼食代、資料代、材料代)

②朝鮮半島とのつながりを訪ねて(9:00～15:30)

播磨灘に面する室津は三方を山に囲まれた天然の良港で「朝鮮通信使」を迎えた港としても知られています。このフィールドワークでは、室町時代、善隣友好の使節として遣わされた朝鮮通信使の足跡を遺す室津の港、豊臣秀吉の朝鮮侵略に係わる古刹斑鳩寺、植民地支配の傷跡を刻む相生平和記念碑など、それぞれの時代に縁のある場所を訪ねながら、日本と朝鮮半島の歴史について学習します。なお、昼食は室津「海駅館」で、朝鮮通信使をもてなした「饗応料理」を体験していただけます。

コーディネーター：尹達世(ユン・ダルセ)(姫路獨協大学非常勤講師)

定員：40名 参加費：7000円(移動費、昼食代「朝鮮通信使饗応料理」、資料代)

③加古川食肉センター見学(8:20～15:00)

加古川食肉センターにて「牛」が「肉」になるまでの工程を見学すると共に、食肉業や食肉に携わる労働者に対する差別(意識)について学習します。また、センターがある志方地区のフィールドワークを通して被差別部落が担ってきた歴史や伝統・文化、さらには今日の部落差別の実態についても学習します。なお、昼食は地元のローカルフードである「かつめし」をご賞味いただきます。

コーディネーター：東田寿啓(部落解放同盟兵庫県連合会執行委員)

定員：40名 参加費：5000円(移動費、昼食代、資料代)

▼フィールドワーク申込方法▼ 締切日：1月7日(金)

名前、所属、連絡先(郵便番号・住所)、電話番号、FAX番号、希望するフィールドワーク名を書いて、FAXにてお申込みください。なお請求書が必要な方は、請求書の宛名及び日付を併せてお書きください。

FAX送付先

第25回人権啓発研究集会フィールドワーク係

FAX：06-6581-8540

※定員に限りがありますので、おひとりずつお申し込みください。

※最後まで参加できる方に限ります。

※フィールドワークの解散場所はJR姫路駅です。なお、交通渋滞等による影響で若干終了時間が遅くなるのが予想されますので、予めご了承ください。

※フィールドワークにご参加いただけるかどうかの可否及び集合時間・場所等につきましては、1月14日(金)までにお申込者に直接ご連絡いたします。

※お申込の際の個人情報、集会運営上の目的以外には使用いたしません。

●問合せ先

兵庫県外の方：部落解放・人権研究所 人権啓発集会事務局(TEL：06-6581-8576)

兵庫県内の方：部落解放同盟兵庫県連合会(TEL：078-222-4747)